

農学工学総合研究科博士後期課程の アドミッションポリシー

I. 求める人材

宮崎大学大学院農学工学総合研究科では、農学と工学の学際的な知識を備え、それらを総合的に活用しようとする学習意欲の高い人材を国内外に広く求めています。また、社会人として経験を活かしながら高度な技術や知識を習得しようとしている人材も歓迎します。本研究科における教育研究領域との関連からは、以下のような人材を積極的に受け入れます。

- ① 低環境負荷・循環型社会の実現に意欲的な人材
- ② バイオマス資源の生産と利活用に取り組む人材
- ③ 地域社会基盤を保全し、持続型社会の構築に貢献できる人材
- ④ 安心・安全で持続型の生物生産システムの開発に関心の高い人材
- ⑤ 動植物・微生物の機能を生活向上に活かすことに関心の高い人材
- ⑥ ポストゲノム研究の成果を食料、環境、健康問題の解決に応用することに関心の高い人材
- ⑦ 水産資源の適正管理と持続的水産増養殖システムの開発に関心の高い人材
- ⑧ 新材料の創生及びエネルギー変換システムに貢献できる人材
- ⑨ 機械加工技術及び構造材料の設計・生産技術の開発に貢献できる人材
- ⑩ ソフトウェア技術・ハードウェア技術・情報ネットワーク技術・バイオインフォマティクス技術、情報処理システムの開発に関心の高い人材

II. 入学者選抜の基本方針

以上のような人材を入学者として選抜するために、出願者の学歴、研究歴、希望修学期間などに配慮し、以下のような基本方針にもとづいて入学者を選抜します。

- ① 同一年度内に複数回の入学試験を実施する
- ② 出願資格（一般、社会人、留学生）に応じた試験を実施する
- ③ 出願書類について審査し、試験結果と合わせて、出願者の能力、適性、意欲などを総合的に評価する